



有機農業政策と 農の再生

新たな農本の地平へ

中島紀一

有機農業
選書

コモンズ

〈著者紹介〉

中島 紀一（なかじま・きいち）

1947年 埼玉県生まれ。

1970年 東京教育大学農学部卒業。

1972年 東京教育大学大学院農学研究科修士課程修了。

東京教育大学農学部助手、筑波大学農林学系助手を経て

1993年 鯉淵学園教授（農業経営学担当）。

2001年 茨城大学農学部教授（農環境政策学担当）。

この間、日本有機農業学会会長、農を変えたい！全国運動代表などを務めた。また、1987年に茨城県八郷町（現石岡市）に移住し、自然と人情に囲まれた暮らしをしている。茨城大学では、耕作放棄の谷津田5ha、それを囲む林地30haの利用再生のプロジェクトに農家、市民、学生らと取り組む。

専門分野 総合農学、農業技術論、農業政策論。

主 著 『食べものと農業はおカネだけでは測れない』（コモンズ、2004年）。

編 著 『有機農業の技術と考え方』（コモンズ、2010年）。

共 著 『安全でおいしい有機米づくり』（家の光協会、1993年）。

〈有機農業選書2〉

有機農業政策と農の再生・新たな農本の地平へ

二〇一一年七月一日 初版発行

著 者 中島紀一

© Kinchi Nakajima, 2011. Printed in Japan.

編集協力 日本有機農業学会

発行者 大江正章

発行所 コモンズ

〒161-0033 東京都新宿区下落合一五〇一〇〇二

TEL〇三（五三八六）六九七二

FAX〇三（五三八六）六九四五

振替 〇〇一〇一〇五十四〇〇〇二〇

info@commonsonline.co.jp

http://www.commonsonline.co.jp/

印刷／理想社・製本／東京美術紙工

乱丁・落丁はお取り替えます。

ISBN 978-4-86187-080-4 C 1061

序章 二二世紀農業の基本は有機農業——本書のねらいと構成 7

第I部 有機農業推進政策の形成と展開 15

第1章 有機農業の推進は国と自治体の責務 16

- 1 有機農業推進が国と自治体の責務となった——有機農業推進法の概要 17
- 2 有機農業の計画的推進の開始 22

——国の第一期有機農業推進基本方針(二〇〇七～二一年度)の概要 22

第2章 有機農業推進法の制定過程と政策展開 30

- 1 制定の準備過程(二〇〇四～〇六年度) 31
- 2 始動した有機農業推進施策(二〇〇七～〇九年度) 38

- 3 政権交代・事業仕分けによる政策推進の暗転(二〇一〇年度以降) 47
- 4 有機農業推進法を準備し、その後の取り組みを推進した民間の運動 51

第3章 第II世紀の有機農業——有機農業推進法が切り開いた政策論 59

- 1 「地域に広がる有機農業」の大展開 59
- 2 有機農業の公共性・公益性 61
- 3 自然共生をめざす技術論——有機農業は特殊農法ではない 65
- 4 「身土不二」と食の自給 70

第4章 国家管理の有機JAS制度の問題点 73

- 1 有機JAS制度と有機農業推進法のズレ 73
- 2 有機JAS制度の概要 75
- 3 有機JAS制度の運用上の問題点 79
- 4 有機JAS制度の改善をめざして 84

第Ⅱ部 有機農業の社会的役割と可能性 93

第5章 食の見直しと農の再生 94

- 1 食の変貌——日本型食生活の崩壊 94
- 2 農の変貌——社会の農離れと農の縮小 98
- 3 食と農の国際環境と政策選択 102
- 4 グローバル化時代の食の安全と農業問題 105
- 5 「身土不二」視点からの食の見直し 110
- 6 農の再生と有機農業 112

第6章 「農業と環境」政策と有機農業 118

- 1 有機農業と環境保全型農業の政策的関連性と相違性 118
- 2 「環境と農業」政策の展開過程 120
- 3 「環境と農業」の政策論 122
- 4 「環境と農業」政策と有機農業推進の重要性 126
- 5 多様な担い手による自然と風土を活かした地域づくり 128

第7章 生物多様性の保全と新しい農業観への転換 132

- 1 第三次生物多様性国家戦略の農業観 132
- 2 農業近代化による自然への悪影響 135
- 3 自然改造と自然からの離脱の過去を見つめて 138
- 4 生物多様性保全のための農業・農村政策への転換を 140

第8章 いのちが見えなくなる時代と有機農業の意味 145

- 1 いのちが見えない社会の危機と食農教育 145
- 2 問われる農業の質 148
- 3 いのち育み、自然とともにある農業としての有機農業 151

第9章 農業の国民的基盤を広げ、深めていくために 154

- 1 有機農業は本来の農業 154
- 2 「主業農家」が日本農業の中核となるために 156
- 3 普通の農家が元気に生きて地域を拓く 164
- 4 国民みんなが耕すことに参加する 167

終章 新しい農本の世界へ——大地震・大津波・原発事故の体験をふまえて 172

- 1 東日本大震災の体験から 172
- 2 東日本大震災からの教訓 175
- 3 二つの復興論 177
- 4 新しい農本の社会へ 178

〈資料1〉有機農業の推進に関する法律 184

〈資料2〉有機農業の推進に関する基本的な方針 188

あとがき 202